



TALK SESSION



建築施工システム
技術科 4年
安田 朱里

生産電子情報システム
技術科 4年
高津 圭佑

生産電気システム
技術科 4年
吉村 太作

生産機械システム
技術科 4年
石田 晋祥

積水ハウス(株)
内定
(東証一部上場企業)

(株)安川情報九州
内定
(安川グループ)

日鉄住金テックスエンジ(株)
内定
(新日鐵住金グループ)

トーカロ(株)
内定
(東証一部上場企業)

出身高校:小倉西高校
趣味はおもしろい話を
聞くこと

出身高校:福岡県立
門司学園高校
趣味は映画鑑賞

出身高校:中津東高校
趣味は野球

出身高校:早稲高校
趣味は料理

一就職活動を振り返っていかがでしたか

安田:3年生の時は、まだ建築系に行くか迷ってたんですよ。服飾系にも行きたいなとか思ってた。でも、就職が決まった先輩の話を聞く機会があって、その先輩が高校の先輩でもあるんですけど、積水ハウスに決まったって聞いて。積水ハウス行けるんだ！頑張ってみようかなって。

それで、インターンシップに参加したのがきっかけで、そのまま積水ハウスを受けて、内定をもらうことができました。

石田:インターンシップって何したんですか？

安田:設計に応募して、ずっと設計してました！周りは関西の有名私大の人が多くて、ちょっと圧倒されました。チームに分かれて、設計したり発表したり、とても勉強になりました。工場や研究所の見学もしましたよ。インターンシップに行くと、積水ハウスの魅力を知って、応募しよう、となりました。

吉村:まとめに入ってきた(笑)面接のエピソードとかある？

安田:エピソードというか、やってしまったなーと思ったのが、面接してくれた方が、私の性格の本質のようなところに触れて、優しい言葉をかけてくださった時があって。その時に私、泣いてしまって。涙がぼろぼろ(笑)あーもう、だめかなあと思いました。

吉村:結果だめじゃなかった。

安田:みなさん、何社くらい受けたんですか？

石田:自分は3社目で内定しました。

安田:何月に決まったんですか？

石田:6月です。

安田:一社単位でしか動かないんですか？ここ受けて、ダメだったら次？という感じ？

石田:そうですね、同時はしませんでしたね。

安田:一社ずつ！すごいですね。

石田:一社目受けた時はすごく準備不足なところがあって。就職支援サイトに登録し忘れていたり。

一同:えー(笑)

安田:先生から結構言われましたよね？この日までについて

石田:言われてたけど。ちょっとスルーしてしまい、。そんなこんなで、就職活動ちょっと苦戦してたんですけど、先生が、企業を紹介してくださいました。

一同:(笑)

石田:自分で考えてモノを作る仕事を探してて、その企業での仕事が、工場の自動化された部分のモノの固定をするための道具を設計・製作するんですよ。ちょうど前の会社落ちて、どうしようかなー。また探さないとというタイミングで先生からアドバイスをもらって。

安田:結果とてもいいところに行けた、という。

石田:確かに一部上場だし、給料もいいです。先生に感謝です。休日もいい。みんなが選んだ基準は？

高津:俺も休日見てた！あと、飲み会があるとかないとか！

石田:飲み会はわからなかった(笑)

安田:飲み会とかわかるんですか？

高津:行事とかで、飲み会の写真とか、球技大会やってますとか。そういう会社はピックアップしました。社員が仲いいとか気にしてました。もし給料が低くても、楽しい会社がいいかなって。

吉村:結局何社受けたんだっけ？

高津:5社。4社の中には最終選考まで行けたり、途中まで順調に思えた企業もあったので、ひとつ落ちたときのダメージが大きかった。

安田:理由聞いたりしました？

高津:いや、でも、メンテナンスで全国に配属地がある企業の面接で、地元が好きで、地元の活動に参加してますとかアピールしたり、そりゃ落ちるわ(笑)ということも。就活をしていくにつれて、自分は地元が好きなんだなー。北九州の人間なんだなーということのを再確認することができて。最終的には地元北九州の会社を選択して、上手いききました。

安田:吉村くんは何社受けたんですか？

吉村:俺は一社推薦で受けて、そこと並行して同時期にもう一社受けたんだけど、先に推薦で受けた方から内定をもらったので、もう一社は選考途中でお断りしました。

石田:なんか苦勞してないかも？

吉村:苦勞したことですか？苦勞したことはないかなー。恥ずかしかったことはあります。一次選考の時に、案内メールを全然見てなくて、わざわざ電話をもらって。

一同:あー。

吉村:しかも当日に行ったときに以前担当の方とお会いしたことがあるはずなのに、「先日〇〇さんから電話もらわなかったら気づきませんでしたー。本当助かりました。」って話したら「私、〇〇です。」ってなって、本当恥ずかしい思いをしました…。結果受かったから良かったものの、担当者の顔や声は覚えたほうがいいですね…。

安田:推薦でも落ちるんですか？？

石田・吉村・高津:落ちる人は落ちる。

安田:へーそうなんですね。

石田:会社を選んだきっかけは？

吉村: 会社の規模とやりたいことができるのか。
高津: 一番格好いい。
安田: 私は、社宅があるのと、会社の雰囲気。
高津: 社宅はでかい。
安田: 私、会社は2社しか受けてないんですけど、説明会はめっちゃくちゃ行きました！もう数えられないくらい。
石田: そんなに行かないと絞れなかったってこと？
安田: なんていうか、見逃したら嫌じゃないですか。もしかしたらもっといい会社があるかもって。私、入ったら絶対辞めたくないですよ。なので、結婚しても働けるような会社を選びました。
石田: かっこいい。
高津: 子育て支援とかある会社？
安田: そうそう。くるみマークって知ってます？そのスター数が、積水ハウスより少ないな、とか。
安田: 石田くんはなんで選んだんですか？
石田: 説明した気がするけど、やりたいことができるかとか、給料の他だと。労働組合があるかないか、って結構気にしました。
安田: 給料言い過ぎ！いくらなんですかーみなさん。
 (ここから、初任給の暴露大会)



一内定先にどういった所が評価されたと思いますか

石田: 元気よくハキハキしゃべったんで、多分そこだと思います。あと卒業研究でトマト収穫ロボットのリーダーになっちゃったんでそのこともいっぱい言いました。うち学校の卒検は、電気と電子情報とプロジェクトチームをつくるので、そこもアピールできたかな。
安田: みんなは？
高津: 俺はやっぱり自分が地元志向だったから。最終面接で自分は生まれ育った北九州に恩返ししたいって。
吉村: どういうことを？
高津: 地元で恩返ししたい！地元の企業に勤めて活躍したいとめっちゃ語りました。あと、自分は地元のお祭りにずっと力を入れて取り組んでたんだけど、そのことを話すと、そこにも興味を持ってくださった方がいましたね。あとは俺も卒業研究の、水中ロボコンのリーダーやっていたので、そのことも話しました。
安田: 私笑顔です！泣いたけど(笑)
石田: でた(笑)
安田: あと、二級建築士の資格が在学中にとれるって言ったら、それはすごい！みたいな。
吉村: 俺は多分ハキハキしてたとこかな、面接中に気合い入れて大きい声出してたら君ハキハキしてていいなって。あともう一つは仕事内容への理解かな。仕事内容について学校でこういうことに取り組んでるからこんな仕事がしたいってきちんと言えたので。そういうところもよかったのかなと思います。
高津: 仕事内容とかは自分で調べたの？
吉村: 自分で企業について、結構詳しく調べたのと、高校の友達が就職してる人が多いんでこんな仕事してるよーとか聞いて、そういうのも参考にしました。

一この学校に入って良かった点は

安田: やっぱり就職ですよ。私この学校じゃなくて他の大学だったら多分そんなに早く動いてないですよ。この学校の雰囲気がそうさせてくれたから、高校の同級生の中では一番くらい早く就職が決まったので、そういったところがよかった。先生が熱い！いい先生！
高津: 自分も普通科高校出身なんで他の大学の友達周りに居るけど他大学と比べると大学推薦がとりやすいと思います。
石田: 確かに。先生との距離が近いのもあってとりやすい。
高津: 先生との距離が近いっていうのはうちの学校の特色の一つですよ。
石田: 話しやすい！
吉村: 俺は実習が多いところでですね。インターンシップで1年の最初の方にやった内容の問題が出てうちのクラスなら誰でも出来る感じだったんですよ。でも他の大学の人は工具も触ったことないし、そもそも何それって感じだったんで。実習が多いから、就職しても経験があるっていうか、すんなり作業に入れるんじゃないかと思いますね。
石田: 授業時間が長い！
吉村: え！それよかった点？
安田: いやーきつい。きつくない？
石田: でもこのまま社会に出てもあんまりギャップを感じない。
吉村: たしかに、就職後すぐに辞める先輩はほとんどいないよね。
高津: あとは学費が安いとこかな。

一後輩へ一言お願いします

石田: せっかく先生との距離が近くて話しやすいんで、しっかり会話して、アドバイスをもらってください。とても素晴らしい先生ばかりです！
高津: 就職支援の体制が学校全体に広がっていて、就職支援室も利用しやすいし、学校からの就職活動に対するサポートがしっかりしているからあるから取り組みやすいです。迷ったときも何かしらフォローをしてもらえるので、安心して就職活動に取り組んでください。
吉村: うちの学校には一般企業出身の先生や、企業在職の方対象のセミナー講師をしている先生が居るから、そういう現場に近い先生から見た社会人の目線とか、仕事内容とか詳しく聞いて仕事への理解の幅を広げるようにしたらいいと思います。
安田: 実際に施工を体験出来るから、細かい収まりまで理解できます。施工実習はしっかり取り組んでください！